

## 学生諸君に訴える

大学はこれまであらゆる問題を話し合いによって解決するという態度を堅持してきた。今回の医学部問題に関しても、学生部委員会は医学部自治会と大学協議会との会見のあっせんに最大の努力を重ねた。大学協議会も同学部から正式提案されていらい、医学部教授会の要請により医学部共闘会議と2度にわたり、会見を行ってきた。

しかるに、その過程において学生の一部は、学長室の占拠、試験の妨害などをし、さらに本日未明教養部3号館を封鎖するに至った。このような一連の行爲は、大学の自治を内部から破壊するものであり、また医学部を中心に起りつつある民主化の動きをかえって誤解させるものといわざるを得ない。

現在、問題の積極的解決に全学の総意が結集されつつあるとき、我々は学生諸君が事態の重大性を認識し、自からの自治能力を発揮することにより、問題の解決に協力されるよう要望する。

昭和44年2月14日

学生部長